

津麦ニュース 令和2年産 第1報

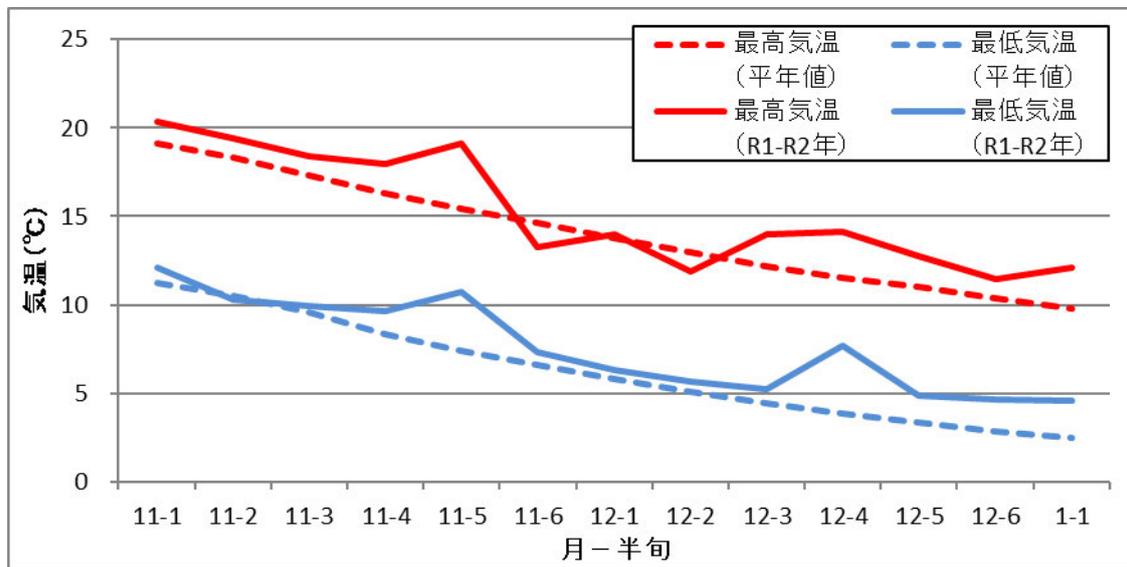
令和2年1月14日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

**麦の生育は順調に進んでいます
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう。**

<気象経過>

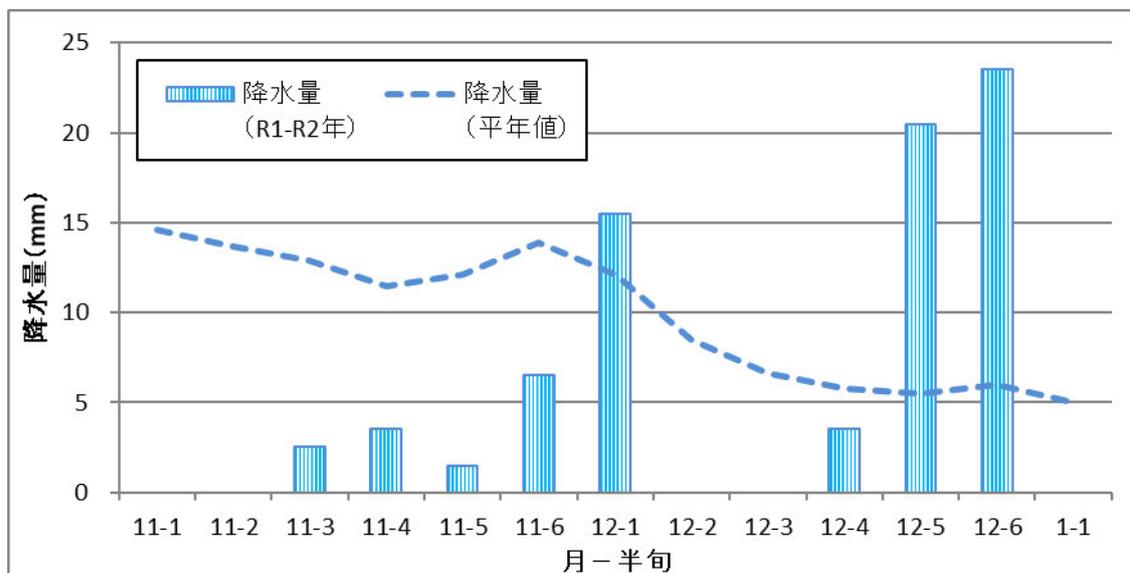
○気温

11月以降は平年より高く推移しています(11月第1半旬から1月第1半旬までの平均気温は平年比+1.3℃)。



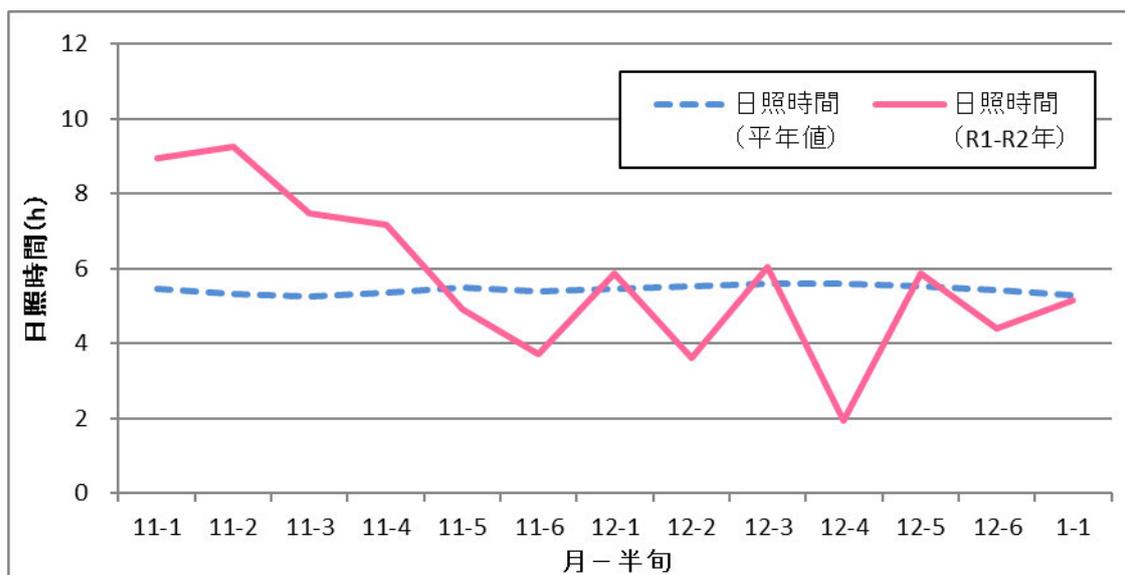
○降水量

12月の上旬と下旬にまとまった降雨もありましたが、11月以降は平年より少なく推移しました(11月第1半旬から1月第1半旬までの降水量は平年比60%)。



○日照時間

11月第4半旬まで平年より多く推移しましたが、11月第5半旬以降は晴天日が少なく平年並みに推移しています(11月第1半旬から1月第1半旬までの日照時間は平年比105%)。



<麦の状況>

○播種作業

11月第4半旬まで日照時間も平年より多く推移し、以降、ぐずついた日もほとんどなく、播種作業は順調に進みました。12月中旬までに大豆跡のほ場を除いて、概ね播種作業は終わっています。

○生育状況

11月は気温が高く推移しており、また、降雨も適度にあつたことから、出芽は順調に進んでいます。11月13日に播種された管内生育基準田のほ場においては、調査場所による生育差は小さく、1月6日時点で4葉期になっています。また、11月3日に播種した管内のほ場において1月9日時点で6.4葉期になっていることを確認しています。

農業研究所(嬉野)作況田では茎数及び葉齢が平年より生育が早い状況です。

○令和2年産(令和元年播)小麦生育基準田の状況

【令和元年12月20日現在】

令和2年産小麦		令和元.12.20時点				
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月13日	11.8	170	46.7	3.1	37
殿村	11月13日	13.8	184	53.9	3.3	37
白山	11月13日	11.7	146	48.8	3.1	37

(参考)

平成31年産小麦		平成30.12.20時点				
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月18日	12.4	210	35.2	2.7	32
安濃	11月12日	14.9	138	45.8	3.2	38
白山	11月2日	18.7	544	34.1	6.1	48

【令和2年1月6日現在】

令和2年産小麦		令和2.1.6時点				
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月13日	12.2	303	43.0	4.1	54
殿村	11月13日	14.4	365	43.3	4.5	54
白山	11月13日	13.5	260	43.8	4.4	54

○農業研究所(嬉野)の作況試験田のデータ

令和2.1.6時点

年産	播種年日	莖数(本/m ²)	葉齢(L)	播種後日数
R02	11月13日	555	4.7	54
平年値(H23~R01)	11月13日	452	4.1	54

※平年値はH30を除いた8か年の平均

<今後の対策>

○ つなぎ肥、追肥
(つなぎ肥)

暖冬傾向で12月下旬にまとまった降水量があったため、肥料の溶出が早いことが想定されることから、4葉期で色が薄くなってきたほ場では、穂数確保や肥え切れ防止のために積極的につなぎ肥(窒素1~2kg/10a程度)を施用してください。緩効性元肥一発肥料の場合も積極的に施用してください。

(追肥)

6葉期は穂数の確保に重要な時期で、「肥切れ」させないことが重要です。6葉期を迎えたら穂数確保のため、追肥(窒素2~3kg/10a)を行ってください。

6葉期を迎える時期は、

11月上旬の播種では1月中旬~1月下旬頃

11月下旬以降の播種では2月上旬以降と予想されます。

(※11月3日播種の管内ほ場において1月9日時点で6.4葉期になっています。)

○ 麦踏み

葉が4枚出たら麦踏み開始の時期です。本年のように暖冬で生育が旺盛な場合は早期に幼穂形成が進み、その後、低温に遭うと凍霜害を受ける恐れがあります。進みすぎた生育を抑えるために麦踏みは特に有効であるため、ほ場がよく乾いているときに行うようにしましょう。莖立ち期までに実施してください。

○ 排水口、ほ場の明きょ(周囲溝、排水溝)等の点検

ほ場が乾燥しているときに降雨があると土壌が崩れやすい状況になるので、排水性を確保するために、排水口や明きょ等を点検してください。